

# HARMONY HALL FUKUI

OFFICIAL GUIDE BOOK

2020.4 - 2021.3

一期一演



## 4年目を迎える名コンビ 新たな展開も

2021年のニューイヤーコンサートに登場する、今注目の指揮者、アンドレア・バッティストーニさん。首席指揮者を務める東京フィルハーモニー交響楽団との関係は4年目に入り、演奏のレパートリーを拡げつつあります。

「時間をかけてお互いをよく知ることができ、今は、さらなる可能性を拓ける段階にきています。これまで取り上げてこなかったフランスやドイツの音楽、また20世紀の作品などのレパートリーを積極的に開拓していきたい。日本のお客様は名曲を繰り返し聴くのが好きな反面、とても好奇心旺盛なところもあるので、色々な作品に触れていただきたいですね」

## 多くの支持を得るマエストロ その魅力の秘密は

学生時代はチェロを勉強していたというバッティストーニさん。プロの音楽家になることはまったく考えていなかったそう。

ニューイヤーコンサート。新春にふさわしい華やかな楽曲はもちろんのこと、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」も歌心に溢れた作品です。「ドヴォルザークはすべての作品に魅力がある作曲家。緻密

です。その考えが変わったのは、初めてオーケストラの一人として交響曲の演奏会に出演したときのことでした。

「様々な楽器の音色が聴こえてきて、その多彩さに魅せられました。人と一緒に音楽を分かち合っているという体験が私をオーケストラの世界へ引き込んだんです」

自国でのイベントで、作曲家の人生

について語ったり、本や詩を読むことを薦めるなど、若い世代に向けたアプローチも積極的に行っており、彼を支持する若者もたくさんいます。ご自身の音楽の魅力はどこにあると考えているのでしょうか。

「自分の長所はなかなかわかりませんが(笑)、大切にしているのは自らの内側から湧き起こってくるものです。小節線を取り去るような気持ちで、自然

な技法によって書かれたロマ派の偉大な交響曲であり、ベートーヴェンの「第九」にも匹敵する重要な作品だと考えています」

細部に至る音楽づくりから溢れ出る情熱が、バッティストーニ

に音楽が流れ出すようにして初めて、音楽が生きているのです。そういう音楽をつくっていくことが、現代における良い音楽家の条件だと思います」

## ニューイヤーコンサートでは 歌心いっぱいの音楽を

「歌の国」イタリア生まれのマエストロが、「素晴らしいソプラノ」と称賛する吉田珠代さんと共にお届けする今回の

ニさんが多くのファンを魅了している理由なのでしょう。ニューイヤーコンサートでは、そうした彼の真髄に触れられるに違いありません。



自然に音楽が流れ出すとき

音楽は生きたものになる

指揮者

# ANDREA BATTISTONI

Special interview

アンドレア・バッティストーニ

アンドレア・バッティストーニ/1987年ヴェローナ生まれ。2013年からジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場の首席客演指揮者、2016年から東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者。スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、マリンスキー劇場、イスラエル・フィル等、世界の主要な歌劇場・オーケストラと共演。日本コロムビア側からCDリリースを継続中

## Concert information

2021. 1.17 (日) 15:00開演/大ホール

協賛 FBC

ニューイヤーコンサート2021  
アンドレア・バッティストーニ指揮  
東京フィルハーモニー交響楽団 ソプラノ: 吉田珠代

S席 ¥8,000 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 車いす席 ¥7,000 (学生半額)  
出演/指揮: アンドレア・バッティストーニ、ソプラノ: 吉田珠代、管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団  
曲目/ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界から」ほか

特別協賛会員・友の会会員 2割引



アンドレア・バッティストーニ  
©上野隆文



吉田珠代



東京フィルハーモニー交響楽団 ©上野隆文

イタリア・オペラの未来を担いながら、東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者として日本でも活躍する若きマエストロ、アンドレア・バッティストーニがニューイヤーコンサートで福井の聴衆にお目見えします。第1部は福井県出身のソプラノ歌手、吉田珠代をゲストに迎え、ウィーンをテーマにした曲目を、第2部はドヴォルザークの交響曲第9番「新世界から」を披露します。



藤岡幸夫 ©SHIN YAMAGISHI 黒川 侑

協賛 セーレン株式会社

9.25(金)  
19:00開演/大ホール

オーケストラで聴く映画音楽 藤岡幸夫指揮  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
ヴァイオリン:黒川 侑

S席 ¥4,000 A席 ¥3,000 車いす席 ¥3,000 (学生半額)  
出演/指揮:藤岡幸夫、ヴァイオリン:黒川 侑、管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団  
曲目/タラのテーマ(風と共に去りぬ)、バイレーツ・オブ・カリビアン、シンドラーのリスト  
コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲ほか  
<共催:FBC>



関西フィルハーモニー管弦楽団 ©s.yamamoto

指揮者の藤岡幸夫が、2007年から首席指揮者を務める関西フィルハーモニー管弦楽団。ピットリと息のあったコンビがお届けするのは映画音楽の世界です。スクリーンでおなじみのナンバーが、フル・オーケストラの壮大な音色で蘇ります。クラシック音楽の裾野を拡げたいという藤岡の想いが溢れるコンサートになりそうです。ソリストにもご注目。福井ゆかりのヴァイオリニスト黒川侑を迎え、「シンドラーのリスト」や、「ハリウッド映画に大きな影響を与えたコルンゴルト作曲のヴァイオリン協奏曲を披露します。」



クリスチャン・ツイメルマン ©Bartek Barczyk

協賛 福井新聞社 福井銀行

11.14(土)  
18:00開演/大ホール

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズⅢ  
クリスチャン・ツイメルマン&ルツェルン交響楽団  
指揮:ピーター・ウンジャン

S席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥10,000  
バックシート ¥8,000 車いす席 ¥12,000 (学生半額)  
出演/指揮:ピーター・ウンジャン、ピアノ:クリスチャン・ツイメルマン、管弦楽:ルツェルン交響楽団  
曲目/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番、第5番「皇帝」、交響曲 第4番  
<共催:福井テレビ>



ルツェルン交響楽団 ピーター・ウンジャン

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズ公演第3弾は、人気・実力を兼ね備えた世界トップクラスのピアニスト、クリスチャン・ツイメルマンが彼の信頼する名門、ルツェルン交響楽団と共に、初めて福井に登場します。シヨパン国際ピアノ・コンクールに史上最年少で優勝して以来、常に第一線を走り続けてきたツイメルマンは、自らの音楽に決して妥協を許さないことでも知られています。そんな彼が今回選んだ作品は、ピアノ協奏曲 第4番と第5番「皇帝」。ベートーヴェンの音楽の真髄を感じることができる演奏は必聴です。



平原綾香

協賛 FUKUVI リフォジュール株式会社 アリソ化学

4.12(日)  
15:00開演/大ホール

平原綾香  
withオーケストラ・アンサンブル金沢

全席指定 ¥8,000 車いす席 ¥6,400 (学生半額)  
出演/指揮・編曲:渡辺俊幸、ヴォーカル:平原綾香、管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢  
曲目/おひさま~大切なあなたへ、明日、Jupiter、シェヘラザードほか  
<共催:FBC>



オーケストラ・アンサンブル金沢



渡辺俊幸

ホルストの組曲「惑星」の「木星」に日本語詞をつけた「Jupiter」で2003年にデビューした平原綾香。その後もクラシック音楽のカヴァー作品などを発表し、多くのファンを魅了し続けている彼女が、オーケストラ・アンサンブル金沢とハーモニーホールふくいにやってきました。透明感と奥行きのある歌声が生のおけストラ・サウンドと重なることで、名曲に新たな命が吹き込まれるでしょう。指揮と編曲は、2019年の「さだまさし」公演に続き、アレンジの名手、渡辺俊幸が務めます。



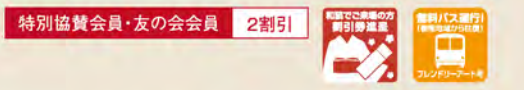
ディルク・カフタン ©Irene Zandel

協賛 audio-technica 福井新聞社

6.19(金)  
19:00開演/大ホール

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズⅠ  
ディルク・カフタン指揮  
ボン・ベートーヴェン交響楽団

S席 ¥8,000 A席 ¥6,000 B席 ¥4,000  
バックシート ¥3,000 車いす席 ¥6,000 (学生半額)  
出演/指揮:ディルク・カフタン、管弦楽:ボン・ベートーヴェン交響楽団  
曲目/ベートーヴェン:「エグモント」序曲、交響曲 第5番「運命」、第7番  
<共催:FBC>



ボン・ベートーヴェン交響楽団

ベートーヴェン生誕250周年の2020年、ハーモニーホールふくいでは記念シリーズ公演を開催します。その第1弾として、ベートーヴェンの生誕地ボンを本拠地とするボン・ベートーヴェン交響楽団を招聘。1907年にボン市交響楽団として生まれたこのオーケストラは現在、音楽監督ディルク・カフタンのもと、年間150回もの公演を行っています。福井公演は、音楽史の革命家としてのベートーヴェンに焦点を当て、「エグモント」序曲、交響曲 第7番、交響曲に革新をもたらした第5番「運命」でオーケストラの真価を発揮します。

Special interview

# 横坂源

GEN YOKOSAKA



成長した天才少年が  
仲間たちと魅せる室内楽の世界

よこさか・げん／桐朋学園女子高等学校(共学)、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、ならびにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。2002年全日本ビバホール・チェロコンクール最年少優勝、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞等多数受賞

きっかけは憧れから  
天才少年の生い立ち  
2019年、33歳にして演奏活動20周年を迎えたチェロ奏者の横坂源さん。13歳のとき、地元・新潟でデビューしました。  
「1998年に『リューとびあ』がオープン、新潟市内の小学生を招待するコンサートで東京交響楽団と共演したのがデビューです。サン・サンスのチェロ協奏曲の第1楽章を演奏しました」  
横坂さんがチェロに出会ったのは4歳のとき。大学で音楽を教えていた父親の教え子の中にチェロ専攻の学生がいて、彼に憧れたのがきっかけだったそうです。その彼から紹介してもらった鷲尾勝郎先生のところから8年間通った横坂さん。そこでは年に3回発表会があり、つまり24回も人前で演奏したことになります。この小さい頃からの舞台経験が、現在、プロの音楽家としての横坂さんの力になっているようです。

Concert information

12.1 (火) 19:00開演/小ホール

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズIV  
ベートーヴェンの室内楽  
～シュトゥットガルトからの贈り物～



協賛 URALA



ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト ©newears.de

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)  
出演/ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト  
(ヴァイオリン:白井 圭、エミリー・ケルナー、ヴィオラ:ヤニス・リールバルディス、チェロ:横坂 源、コントラバス:幣 隆太郎、クラリネット:ディルク・アルトマン、ファゴット:ハンノ・ドネヴェーグ、ホルン:ヴォルフガング・ヴィッフリャー)  
企画構成・解説:小宮正安  
曲目/ベートーヴェン:七重奏曲、「エグモント」序曲、シュタウト:生誕250周年の祝祭曲(新曲)ほか



小宮正安

弦楽器と管楽器8人の演奏家による「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト」が、グループの名刺代わりとも言えるベートーヴェンの「七重奏曲」をはじめ、ベートーヴェンの音楽をモチーフにした新曲などを披露。さらに、福井公演にはNHK「ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート」の解説でも知られるヨーロッパ文化史研究家の小宮正安が出演。ベートーヴェンの人生や作品を楽しくひもといていきます。また、吹奏楽を学ぶ人たちのために3人の管楽器奏者によるクリニックも開催されます。

### シュトゥットガルトが繋ぐ アンサンブルの誕生

その後、桐朋学園女子高等学校(共学)を経て、ドイツのシュトゥットガルト国立音楽大学に留学。留学中の2010年に、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位を獲得したことがきっかけで、シュトゥットガルト放送交響楽団の首席チェロ奏者に抜擢されます。同楽団のコントラバス奏者だった幣隆太郎さんとの出逢いが、「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト」の結成に繋がっています。

### 室内楽には人間の生の姿が 映し出される

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスにクラリネット、ファゴット、ホルンという編成はとても珍しいですが。「オーケストラのように厚みのある響きを持ちながら、小編成ならではの機動力があるのが特徴です。定期的に集まって、じっくりと作り上げてきたアンサンブルが僕らの魅力だ

活動しているヴァイオリンの白井圭君、シュトゥットガルト放送響の3人の弦楽器奏者と、3人の管楽器奏者の8人です」





渡辺由美子



Discussion of Percussion "Q21"



埼玉栄高校打楽器パート

協賛 KOROGI  
marimbas & xylophones

## 11.8(日)

13:00開演/大ホールステージ

### 渡辺由美子 マリンバ&パーカッション 「ステージできく」プレミアム・コンサート

ステージ席・2階席(全席指定) ¥2,000 (学生半額)  
出演/マリンバ、パーカッション:渡辺由美子, Discussion of Percussion "Q21"  
埼玉栄高校打楽器パート  
曲目/外山雄三:管弦楽のためのラブソディ  
カバレフスキー:組曲「道化師」から 第2曲「ギャロップ」ほか

ソロのマリンバ、打楽器奏者として活躍しながら、国内外で指導者としても高い評価を受けている渡辺由美子。彼女が指導に携わっている埼玉栄高校は、全日本吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストなどで金賞を受賞している名門校。今回、同校で打楽器を学ぶ生徒たち、そして、渡辺が主宰するアンサンブル Discussion of Percussion "Q21"と共にハーモニーホールふくいにやります。

本公演でも、打楽器を勉強中のみなさんに身近で音楽を感じてもらいたいというコンセプトのもと、ステージ上に客席を設置。生演奏の迫力を体感できるまたとない機会です。

協賛 ますも証券

## 5.1(金)

19:00開演/大ホールステージ

### 風と緑の楽都音楽祭 in ふくい 「ステージできく」藤田真央 ピアノ・リサイタル

ステージ席・2階席(全席指定) ¥2,000 (学生半額)  
出演/ピアノ:藤田真央  
曲目/モーツァルト:ピアノソナタ 第12番  
ベートーヴェン:ピアノソナタ 第8番「悲愴」、ショパン:舟歌ほか  
※60分(休憩なし)プログラム  
＜企画制作:いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会＞



藤田真央 ©Shigeto Imura

### ハーモニーホールふくいに 新たな鑑賞空間が出現!

お客様が上ることのない「ステージ」という空間。いったいアーティストたちは、どのようにお互いの音を聴き合って音楽づくりをしているのでしょうか。知ることのなかった空間を体感できる新たな鑑賞のカタチをハーモニーホールふくいがご提案します。

例年開催している0歳から楽しめる「ステージできく」シリーズでは、本来、オーケストラメンバーが載る「迫り」に子どもたちが直に座って、アーティストの目の高さで音楽に触れています。毎年恒例になっているこの鑑賞空間に、椅子を設置することで、本格リサイタルでも活用しようというものです。

ステージ席ではアーティストの息づかいまで間近に感じられる一方、2階席では大ホールの豊かな空間に広がるサウンドを楽しめます。このカタチで開催される3つの「ステージできく」コンサートにご期待ください。



毎年恒例、「風と緑の楽都音楽祭」のサテライトコンサート。今年は、若手実力派ピアニスト、藤田真央が登場します。2019年、チャイコフスキー国際コンクールで第2位を獲得、同年秋に公開された恩田陸原作の大ヒット映画「蜜蜂と遠雷」の演奏を担当するなど、今話題のピアニストです。

大ホールの豊かな音響で聴く藤田のモーツァルトやベートーヴェン、ショパンは格別。故・中村紘子が「聴いている人をキュンとさせる、ときめかせるものがある」と絶賛した演奏に期待が高まります。福井公演限定で演奏後にトークも。一粒で2度美味しい贅沢なリサイタルです。



三河正典

福井交響楽団



横山恵子

菅有実子

高橋 淳

志村文彦



ふくいフロイデ合唱団



高橋かほる

## 12.20(日)

14:00開演/大ホール

### ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズVI 県民でつくる ふくいの第九2020

全席指定 ¥2,500 車いす席 ¥2,000 (学生半額)  
出演/指揮:三河正典、ソプラノ:横山恵子、メゾ・ソプラノ:菅有実子、テノール:高橋 淳  
バリトン:志村文彦、合唱:ふくいフロイデ合唱団、管弦楽:福井交響楽団、合唱指導:高橋かほる  
曲目/ベートーヴェン:交響曲 第9番「合唱付き」、水のうたメドレー 水百景(女声版、編曲:三河正典)  
＜主催:ふくい第九を歌う会、福井交響楽団＞

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズの締めくくりに、2017年以来3年ぶりの「ふくいの第九」です。

「県民による県民のためのオーケストラ」として1987年に設立し現在、およそ80人の団員を有する福井交響楽団と、県民で構成される、ふくいフロイデ合唱団がステージに。交響曲第9番の壮大なメロディが、大ホールに響きわたります。

記念すべきベートーヴェン・イヤールの最後にふさわしい「第九」の世界を一緒に味わいましょう。

協賛 福井テレビ

## 7.31(金)

19:00開演/大ホールステージ

### 「ステージできく」トリオAXIS ピアノ:Nadia Azzi

ステージ席・2階席(全席指定) ¥3,000 (学生半額)  
出演/トリオAXIS(ヴァイオリン:佐久間聡一、ヴィオラ:生野正樹、チェロ:奥泉貴圭)  
ピアノ:Nadia Azzi(ナディア・アズィ)  
曲目/シューベルト:弦楽三重奏曲 第1番、ベートーヴェン:弦楽三重奏曲 op.9-1  
フォーレ:ピアノ四重奏曲 第1番



佐久間聡一

生野正樹

奥泉貴圭

トリオAXIS



Nadia Azzi (ナディア・アズィ)  
©Matthew Holler

ハーモニーホールふくいのレジデントとして、ヴィオラの生野正樹、ヴァイオリンの佐久間聡一、チェロの奥泉貴圭の3人によって2019年に結成されたトリオAXIS。デビューリサイタルでの熱演は、大好評を博しました。

今年のゲストは、ドイツ・カルテットと2016年に共演し、そのフレッシュな演奏で福井の聴衆を虜にした、米国在住の越のルビーアーティスト、ナディア・アズィ。さらに成長した姿を見せてくれるでしょう。

「AXIS(軸)」の名の通り、3人を軸にさらに充実した音楽を、今回は大ホールのステージ上で堪能ください。

ヴォーカリスト&amp;ギタリスト(スターダスト☆レビュー)

Special interview

## 根本

KANAME NEMOTO

## 要



新しいものに挑戦し続けるロック魂が  
ジャンルを超えてあなたをキャッチする

ねもと・かなめ/デビュー39年を迎えた日本を代表するライブバンド「スターダスト☆レビュー」のヴォーカル&ギター  
2018年にアルバム「暹羅少年」をリリース。2月にはライブアルバムを、3月25日にはツアーの映像を収めた「スターダスト☆レビュー ライヴツアー『暹羅少年』」をリリース。毎年恒例の野外ツアー「楽園音楽祭 2020 スタ☆レビ ロックリンピック」が5月23日(土)香川県さぬき市野外音楽広場テアトロンからスタートする。  
公式ホームページ <https://s-d-r.jp/>

### 根底はアマチュアリズム？ 長寿バンドが愛される理由

「クラシック音楽専門のホールからインタヴューを受けるなんて初めてじゃないかな」  
照れくさそうに笑いながら話し始める根本さん。2021年にデビュー40周年を迎えるスターダスト☆レビュー(スタ☆レビ)のリーダーです。根本さんと高校時代の仲間が中心となってできたスタ☆レビは、アコースティックなサウンドやメンバー全員によるコーラスの魅力などで、ロックのみならず幅広いジャンルのファンを獲得してきました。

「スタ☆レビの音はノンジャンルとかよく言われるんですが、それは僕が子どもの頃から聴いてきた音楽の影響だと思っています。ビートルズにしろ、中学の頃にハマったプログレにしろ、ロックの探求者たちはみな、ジャンルの枠を超えて新しいものを創り出そうとする精神がありました。彼らの音楽に溶け込んでいる様々な要素が、僕らの音楽にも入り込んでいます。それに僕らはロックバンドなのにア・カペラでも歌います。その音作りにジャズやクラシック“ぼさ”を感じる方がいるのではないのでしょうか」

「絶えず誰かの影響下にある、と言う根本さんですが、今でも好きなアーティストのライブには必ず足を運ぶそうです。例えばポール・マッカートニーがオーケストラでJ.S. バッハを指揮し

たと聞けばバッハの原曲を聴く、というように食欲に音楽を追求しています。感動したこと、驚いたことの背景にあるものは何だろうという探究心が、根本さんの創作の根元を形作っていることは間違いありません。

**スタ☆レビ流ア・カペラと弦楽四重奏が出会うとき**  
ところで、スタ☆レビといえ根本さんのハイトーン・ヴォイスが魅力のひとつ。選歴を超えてなお、高音を保つ秘訣はあるのでしょうか。

「僕らは今でも年間50〜60回以上ライブをします。そこでは、“一所懸命”だけではなかなか安定度が保てません。そんな中で“いかに無駄な力を抜くか”が重要だということに気づきました。さらに言うなら感情で起伏をつくり過ぎないこと。いい曲は歌詞とメロディで十分に情感が伝わるものです。だから、力まず素直にメロディをトレースしていけば、お客様に必ず伝わります。そういう歌は喉も疲れませぬしね」

そんなスタ☆レビが今回、弦楽四重奏とコラボレーションをします。

「今回は普段、クラシック音楽をお聴きのみなさんにスタ☆レビのアンサンブルをどう届けるか、が僕らのテーマです。オリジナルだけでなくカヴァー曲も歌います。そこにいるお客様に生で僕らの音楽を届ける、それがライブです。CDやレコードとは違う、その日にしかできない音楽をお聴かせたいです」

普段、クラシックしか聴かないという方にも、このコラボレーションは楽しみです。

「今回、初めて東京フィルハーモニー弦楽四重奏団の方と共演させていただきます。クラシックのアーティストにも、新しいことに挑戦している人たちがたくさんいます。お互いに、いつもとは多少違うパフォーマンスを楽しみたいです。みなさんもいつもと違うジャンルに、少し冒険してみてください。笑顔でお帰りにされる、そんなライブです。楽しんでください」

### Concert information

協賛 **KAWA** 興和江守株式会社 福井新聞社

5.9(土) 18:00開演/大ホール

### スターダスト☆レビュー ア・カペラ&アコースティックライブ ゲスト:東京フィルハーモニー弦楽四重奏団

全席指定 ¥6,000 ヘア券 ¥10,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)  
出演/スターダスト☆レビュー(ヴォーカル、ギター:根本 要、ベース、コーラス:柿沼清史、

ドラム、コーラス:寺田正美、パーカッション、コーラス:林"VOH"紀勝)  
東京フィルハーモニー弦楽四重奏団(ヴァイオリン:近藤 薫、戸上真里、ヴィオラ:加藤大輔、チェロ:渡邊辰紀)  
演奏予定曲/木蘭の涙、夢伝説、今夜だけきつと、トワイライト・アヴェニュー、追憶ほか

<共催:福井テレビ>

スターダスト☆レビュー、通称「スタ☆レビ」のアコースティックライブがコンサートホールならではの特別企画として実現!スタ☆レビとコラボするのは、2021年のニューイヤーコンサートに登場する東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者たちによる弦楽四重奏団。スタ☆レビの十八番であるア・カペラ・コーラスや、弦楽四重奏の伴奏によるパフォーマンスなど、ここでしか体験できないスペシャルライブです。



スターダスト☆レビュー



近藤 薫 戸上真里 加藤大輔 渡邊辰紀  
©深堀瑞穂



TAKERU 武田彰朗 大志郎



葛西頼之 杉山大祐 ©T.Kitaura 菊池伸城



鈴木真一郎 縁

10.31(土)

15:00開演/大ホール

和楽器奏者の英雄たち  
縁コンサート ~旋風~

全席指定 ¥5,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)  
出演/縁(和太鼓:TAKERU、武田彰朗、大志郎、津軽三味線:葛西頼之、杉山大祐  
箏:菊池伸城、鈴木真一郎)  
曲目/HANABI、STEP、獅子の真の心、鯉の滝登り、津軽じょんから節ほか  
<主催:MIN-ON>

和楽器界を牽引する7人の若手奏者が、舞台での共演を機に意気投合して2010年に結成した「縁」。メンバーはいずれもコンテストなどの受賞歴を持ち、各楽器を代表するアーティストです。全国各地で公演を展開しており、海外でも人気を博しています。

「和楽器界に旋風を巻き起こす」という想いが込められたコンサート。型破りなパフォーマンスと繊細なサウンドが融合した、他に類を見ないステージをお楽しみください。

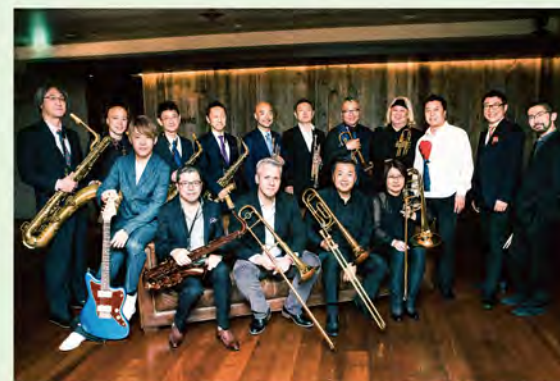
協賛 audio-technica 福井新聞社

5.29(金)

19:00開演/大ホール

小曾根 真 featuring No Name Horses  
Until We Vanish 15×15 15th Anniversary 2020

全席指定 ¥6,000 ベア券 ¥10,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)  
出演/ピアノ、 Hammondオルガン:小曾根 真  
トランペット、フリーゲルホルン:エリック宮城、木幡光邦、奥村 晶、岡崎好朗  
トロンボーン:中川英二郎、マーシャル・ギルクス、バストロンボーン:山城純子  
アルトサクソ、ソプラノサクソ、フルート:近藤和彦、アルトサクソ、フルート:池田 篤  
テナーサクソ:三木俊雄、テナーサクソ、クラリネット:岡崎正典、バリトンサクソ、バスクラリネット:岩持芳宏  
アコースティックベース、エレキベース:中村健吾、ドラム:高橋信之介、エレキギター:山岸竜之介  
<共催:福井テレビ>



小曾根 真 featuring No Name Horses ©Ayumu Kosugi



小曾根 真 ©K.Nakamura

小曾根真率いるビッグバンド「No Name Horses」。前回の福井公演では幅広い世代の支持を受けてチケットが完売しました。新しいメンバーを加えて、ふたたび福井を興奮の渦に巻き込みます。

結成15周年に15人のメンバーで、という意味から「Until We Vanish 15×15」と題されたツアーには、2018年に「スーパードロップ」公演に出演した中川英二郎とマーシャル・ギルクスも参加しています。さらに、スペシャルツアーメンバーとしてエレキギターの山岸竜之介を迎え、16人で繰り広げる新たなステージにご期待ください。



無料(バス運行) 福井県内限定

協賛 武生特殊鋼材株式会社

12.5(土)

16:00開演/小ホール

ノルディック・クリスマス  
カルデミンミット&ヨーラン・モンソン・バンド

全席指定 ¥5,000 ベア券 ¥8,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)  
出演/カルデミンミット(フィンランド)、ヨーラン・モンソン・バンド(スウェーデン)



カルデミンミット



ヨーラン・モンソン・バンド

2020年のクリスマスは、北欧からやってくる2つのバンドに彩られます。「カルデミンミット」はフィンランド出身の女性4人によるグループ。伝統楽器カントレの澄んだ音色が、真冬の空気に響きわたります。スウェーデンからは、天才リコーディストであり、フルーティストのヨーラン・モンソン率いるバンドが、ロックあり、ジャズあり、コンテンポラリーあり、音楽を多彩に展開します。

館内では雑貨やスイーツなどが並び、人気イベントのクリスマス・マルシェも開催します。

協賛 福井信用金庫

9.17(木)

19:00開演/大ホール

Six Unlimited コンサートツアー2020

～オールスターズの企て～ (仮題)

全席指定 ¥6,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)  
出演/雅楽器:東儀秀樹、ヴァイオリン:古澤 巖、ピアノ:塩谷 哲  
ギター:小沼ようすけ、パーカッション:大儀見 元、ベース:井上陽介



東儀秀樹 古澤 巖 塩谷 哲



小沼ようすけ 大儀見 元 井上陽介

ハーモニホールふくいでは、おなじみとも言える東儀秀樹と古澤巖に、ピアノの塩谷哲、ギターの小沼ようすけ、パーカッションの大儀見元、ベースの井上陽介ら超一流アーティストが加わったユニットが結成され、2020年、新たな企画がスタートします。

6人はいずれも長年、クラシック音楽やジャズ、雅楽、ワールドミュージックなど、それぞれのジャンルで活躍してきたまさにスターぞろい。この「企て」は6人の強烈な個性がぶつかり合いながら融合する、一流のエンターテインメントになるでしょう。



無料(バス運行) 福井県内限定



## 数百年にわたって紡がれてきた 音楽の魅力を伝えたい!

今年は、「私のベートーヴェン」に出演する3人のピアニストと  
2019年、東京でソロリサイタルを成功させ凱旋公演を開くチェリストの荒井さんに、語っていただきました。

チェリスト **荒井 結**・ピアニスト **竹内真紀**・ピアニスト **谷口佳奈香**・ピアニスト **仲谷理沙**

「私のベートーヴェン」では、ピアニスト3人の三大ソナタが楽しみです。仲谷 革命作曲家と称されるベートーヴェン。「悲愴」は彼が難聴に悩まされ始めた転換期の頃の作品です。谷口 私にとっていつも側にいる作曲家でした。「月光」は、幼い頃から弾く機会に恵まれていましたが、ハーモニーホールふくいで演奏するのは初めてです。

竹内 20歳の頃に福井で「熱情」を弾いてから20年。感慨深さだけでなく、改めて興味深く取り組みそうです。

荒井さんもベートーヴェンのソナタを弾かれます。

荒井 楽譜はひとつでも、その解釈を通して作曲家の想いを伝えるのが演奏家の役割です。名曲が生まれるには、演奏家の力も大きかったです。

名曲の多いベートーヴェン、演奏家にとって難物な面もあります。

谷口 大学時代のレッスンで、楽譜の3段目からパツタリ進まなくなると90分。同じところを繰り返し弾き続けたことがあります。ただ、何故か嫌な思いはなくて、そのときの経験が今の私に生きています。

音楽を続けていこうと考えたきっかけは。

谷口 小2の福井県音楽コンクールでした。受賞の喜びのおかげで、その後いろいろなことがあっても辞めるといふことはなかった。友だちの中にも憧れる人が居て、身近なところで目標をみつけては努力を続けてきました。

竹内 小山実稚恵さんのリサイタルを武生で聴いたとき！凄い衝撃でした。私の場合は、ライバルというより師匠が目標、いや憧れの存在でした。音楽だけにとどまらず、マナーや女性としての生き方まで教えてくださったんです。そのご指導のおかげで、これまで続けてこられました。

越のルビーアーティストとして、様々なところに向いて音楽の魅力を子どもたちに伝える活動にも取り組んでいます。

竹内 自分で音楽を聴きたくて足を運んでもらえる演奏会とは違うので、短時間でガツンと心を動かせるようなインパクトや色彩感を意識し、伝えたいことはホールのコンサートと同じ視点で伝えられるよう、お喋りの組立てや言葉づかいに気を張っています。谷口 やっぱ「聴いたな」という実

とっても厳しい先生でしたが(笑) 竹内 ベートーヴェンのソナタは、子どもの頃、絶対にやんなきゃという距離感でした。ところが、練習に時間はかかるんだけど、やればやるほど様々な感情に満たされ、距離感が変化するのが魅力に感じられるようになりました。一方、室内楽では、即興的な面白さなど、余白の楽しみが広がります。

仲谷 私も、室内楽に取り組むようになってから、音色のつくり方や細かいところで演奏の精度を高める方法がわかってきて、深く勉強できるようになりました。

荒井 室内楽といえば、ハーモニーホールふくいの小ホールはまさにピツタリ、素晴らしい。大変思い入れのある場所です。TCE(東京チェロアンサンブル)公演では、仲間たちに随分羨ましがられました。

TCE公演には大勢の教え子が来た荒井さん。演奏活動が忙しくなっても次世代育成から決して手を抜きませんね。

荒井 ドイツの師匠の影響かな。次世代に伝える大切さは、どんな職業でもそうですがクラシック音楽はその感を持ってもらえるような選曲をすることかな。取っつきやすさ、聴きやすさを軸に選ぶようにしています。

仲谷 日常生活の中にある名曲はおさえながら、知らなくても印象に残りそうな作品を散りばめるようにしています。「あ、あの聴いたことのある音楽はこの曲だったんだ」ということが契機になって、自らアンテナを張ってくれるようになったら嬉しいです。

「知らない」だけでなく「むずかしい」と言われるのもクラシックです。

荒井 音楽は形に残らないから難しい、イメージできないとつまらない。でも、イメージの持ち方は自由なんです。幼稚園でシヨスタコーヴィチのピアノ・トリオを弾いたとき、みんな一瞬ポカーンとなったんだけど、相当刺激的だったらしく「シヨスタコカッコいい!」って。

竹内 どんな風を受け止めてもらえるかはわかりませんが、それこそ私たちが演奏家次第なんだと思います。

故郷を愛してやまない4人それぞれ、のベートーヴェンにご期待ください。



### 荒井 結 (あらい・ゆい)

米国アイディルワイルド・アーツ・アカデミー、ドイツ国立ハンブルク音楽大学等で学ぶ。2008年、岩城宏之音楽賞受賞、ブラーム国際コンクールチェロ部門第2位。現在ソロ、室内楽を中心に活動中。参納純三、J.ワルツ、W.メーホルンの各氏に師事。福井市出身、愛知県在住

### 竹内真紀 (たけうち・まき)

東京藝術大学、同大学院を経て、英国王立音楽院を最優秀のディプロマDip RAMを取得し修了。North London Piano Schoolグランプリ、アンドラ国際ピアノコンクール最優秀スペイン音楽賞。ソロ、室内楽、歌曲のリサイタルや、東京・春・音楽祭等の音楽祭に出演。現在、日本女子大学非常勤講師。福井市出身、東京都在住

### 谷口佳奈香 (たにぐち・かなこ)

4歳からピアノを始める。京都市立芸術大学、ニュルンベルク音楽大学卒業、同大学院マスター課程を修了。ドイツ国家演奏家資格取得。ドイツモーツァルト協会室内楽コンクールトリオ部門第2位、京都芸術祭にて京都府知事賞、長江杯国際音楽コンクール優秀伴奏者賞受賞。福井市出身、京都府在住

### 仲谷理沙 (なかや・りさ)

福井大学教育地域科学部音楽教育サブコース卒業。JPTA第29回ピアノ・オーディションにおいて萩原和子賞受賞、全国優秀者演奏会に出演。現在、ソロ活動の他、室内楽や声楽とのアンサンブル等積極的に演奏活動に取り組んでいる。NPO法人ふくい子どものための音楽教室、沙羅音楽院講師。福井市出身、在住





前回の「若い芽コンサート」から

共催 福井新聞社

8.12(水)

19:00開演/小ホール

若い芽コンサート2020

全席自由 ¥1,000 車いす席 ¥800 (学生半額)
出演/県内出身または在住の中学生・高校生(オーディション合格者)
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子、ヴィオラ:笠川 恵、チェロ:荒井 結)
構成/第1部:ソロ・ステージ 第2部:弦楽四重奏との共演ステージ



フェスティバル・カルテット

音楽を学ぶ福井の中学生・高校生が、ソロ演奏とプロの演奏家との共演を披露する若手育成プログラムです。出演者は、2月の公開オーディションで選ばれ、コンサートに向けて日々鍛錬を積んで臨みます。このコンサートからは、福井ゆかりの越のルビーアーティストとして、国内外で活躍する人材も数多く輩出。これから世界に羽ばたく若い才能をあなたの目と耳で発掘しに来てみませんか。共演するのは「越のルビー音楽祭」から生まれたフェスティバル・カルテット。後輩たちを演奏で応援します。



鈴木慎崇



荒井 結 ©GUV PHOTOGRAPH

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

10.10(土)

14:00開演/小ホール

荒井 結 チェロ・リサイタル

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/チェロ:荒井 結、ピアノ:鈴木慎崇
曲目/ベートーヴェン:チェロ・ソナタ 第5番、ラフマニノフ:チェロ・ソナタ ほか

2019年、東京でソロリサイタルを成功させた荒井結が、満を持して贈るハイモニーホールふくい初ソロリサイタル。荒井自身のオフアード共演が実現したピアノと鈴木慎崇は、卓越した技術とアイデアあふれる音楽づくりで高い評価を得ている名手です。ソロの研鑽を積んだ荒井の「現在」を聴くにふさわしいプログラム。荒井が「大船に乗った気持ちで音楽に向き合える」と絶大な信頼を寄せる鈴木と、どのような演奏を繰り広げるのか、どうぞお聴き逃しなく!



山口梨恵



伝田正秀

協賛 日華化学

11.1(日)

2回公演 ①11:00開演 ②14:00開演/大ホールステージ

秋の子ども音楽会 「ステージできく」コンサート(仮題)

ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000 (0歳~高校生:半額)
出演/ヴァイオラ、プロデュース:山口梨恵、ヴァイオリン:伝田正秀、チェロ:室野良史、ピアノ:石川咲子
制作補助/ママさんディレクターズ ※50分(休憩なし)プログラム

子育て中のアーティストがプロデュースする、0歳児から鑑賞できる人気のコンサート。8回目となる今回は、福井市在住のヴァイオラ奏者で、指導者としても活躍している山口梨恵がプロデュースを務めます。演奏者の近くでお子様と一緒に演奏を聴く体験は、何物にも変えがたい家族の思い出になることでしょう。また、もしお子様が泣いたりぐずったりしても、スタッフが対応してくれるので安心です。赤ちゃんがいるからとコンサートから遠ざかっているお母さん、お父さんにもおすすめです。



室野良史



石川咲子



竹内真紀



谷口佳奈香



仲谷理沙

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

10.25(日)

14:00開演/小ホール

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズII 私のベートーヴェン 「悲愴」「月光」「熱情」

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ピアノ:竹内真紀、谷口佳奈香、仲谷理沙
曲目/ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」、第14番「月光」、第23番「熱情」

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズの第2弾は、越のルビーアーティスト3人が、ベートーヴェン三大ピアノ・ソナタの「悲愴」「月光」「熱情」をそれぞれ演奏。「楽聖」と称される偉大な作曲家の深淵に迫るべく、各々の解釈でつくり上げた世界観を響かせてくれます。幕間に行われるトークセッションでは、ベートーヴェンやピアノへの三者三様の想いが聞けるのも楽しみみのひとつ。新しい発見に出逢えるコンサートになるでしょう。

協賛 (公財)げんでんふれあい福井財団

2021. 3.21(日)

14:00開演/小ホール

福井県新人演奏会2021

全席自由 ¥500(学生・車いす席:割引なし)
出演/オーディション合格者(ピアノ、器楽・作曲、声楽の各部門)

協賛 福井ケーブルテレビ株式会社 さかいケーブルテレビ株式会社

2021. 3.20(土・祝)

15:00開演/小ホール

ジュニアが輝く! “音楽の森”コンサート2021

全席自由 ¥500 3歳~高校生・車いす席 ¥100
出演/指揮:清水麗輝
演奏:令和2年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

「私のベートーヴェン」をご鑑賞のお客様。あなたが主役になるのがこのコンサートです。年齢を問わずピアノを弾く全ての人々を対象に、出演者を公募するピアノ・マラソンです。出演者には、ひとり5分程度でベートーヴェンの作品(ソナタなら単一章)を演奏していただきます。本番に先立ち、越のルビーアーティストによるワンポイントレッスンも予定しています。

協賛 福井新聞社 FBC 福井テレビ

12.6(日)

小ホール

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズV みんなのベートーヴェン ~ピアノ・マラソン~

全席自由 ¥500 4歳~高校生・車いす席 ¥100
出演/公募(6月頃、詳細発表予定)
曲目/ベートーヴェン:ピアノ作品 ほか

# ベートーヴェンの全てを、今こそ！

小宮正安  
(ヨーロッパ文化史研究家、横浜国立大学教授)

## 知っているつもりで有名な名人？

険しい表情で髪を振り乱し、耳の病をはじめとする困難と闘いながら、作曲のペンを走らせる…。お馴染みの肖像画や伝記を通じて、私たちがよく知っているベートーヴェンの姿である。

もちろんこれは、ベートーヴェンをめぐるひとつの真実だろう。だが彼に対する一般的なイメージが、実のところきわめて限定されているのも、また本当なのだ。

## ベートーヴェンの意外な顔

例えば「運命」のように、苦悩する人間を鼓舞し、勝利への希望を抱かせるような内容の交響曲を、ベートーヴェン自身数多くは書いていない。逆に、弾けるようなリズムや躍動感に満ちた「交響曲第4番」や「交響曲第7番」のような例もある。あるいは、数あるピアノ・ソナタやピアノ協奏曲も然り。もちろん、よくあるベートーヴェン像を彷彿させるような、熱情や苦悶を刻み込んだもの

## 彼を見つめ直す絶好の機会に

ただしそれもこれも、ベートーヴェンが残した作品を、56年にわたる彼の生涯の様々な時代から、また様々なジャンルから体験することによってしか分からない。しかもそれらを、彼が作品上演の前提条件と

もあれば、意外なほど可愛らしかったり、ユーモアに溢れていたたりするものもある。ピアノリストとして活躍した彼が自作のピアノ作品に、自身の技巧を披露すべく華やかな聴かせどころをふんだんに入れ込んだのも当然だ。

また、貴族との関係も同様である。ベートーヴェンは、しばしば伝えられているように貴族を否定したのではなく、貴族と市民の共存を理想とした。そして自らに敬意を払ってくれる貴族とは、密接な関係を結んだ。貴族文化の残照眩い18世紀の伝統を汲んだかのような、サロンのための娯楽性に富んだ「七重奏曲」などは、その典型だろう。

## 曲目索引

<b>【交響曲】</b>		
第4番	11.14(土)	P4
第5番「運命」、第7番	6.19(金)	P3
第9番「合唱付き」	12.20(日)	P8
<b>【ピアノ協奏曲、管弦楽曲】</b>		
第4番、第5番「皇帝」	11.14(土)	P4
「エグmont」序曲	6.19(金)	P3
	12.1(火)	P5
<b>【室内楽曲】</b>		
チェロ・ソナタ 第5番	10.10(土)	P15
弦楽三重奏曲 op.9-1	7.31(金)	P7
七重奏曲	12.1(火)	P5
<b>【ピアノ・ソナタ】</b>		
第8番「悲愴」	5.1(金)	P7
	10.25(日)	P15
第14番「月光」	10.25(日)	P16
第23番「熱情」	10.25(日)	P15

して考えていた生演奏の形で触れらるとなると、再生メディアが発達を遂げた現代では、逆に難しい。そんな状況の中、知っているベートーヴェンについても知られざるベートーヴェンについても、それらを凝縮して体験できる機会がやってきた。となれば今こそ、絶好の機会ではないか？

ベートーヴェンを手が届かない「楽聖」として遠巻きに眺めるのではなく、「私のベートーヴェン」

「みんなのベートーヴェン」として彼の生涯と作品を見つめ直すために。

ベートーヴェンが晩年の「第九」に結実させた「全ての人々」という理念。その理念をこの時代に私たちが自分のこととして受け止めるとき、ベートーヴェンという生き方の全てが、鮮やかに響いてくる。

## 「ビジネスパーソンのためのクラシック音楽アカデミー2020」

県内企業の職員・社員を対象に開催する、クラシック音楽の講座と鑑賞がセットになった研修です。



- 6月19日(金) 18:00~**  
 テーマ ベートーヴェン これだけは押さえるべし  
 ~生誕地ボンのオーケストラ来日を記念して~  
 会場 ハーモニーホールふくい 小ホール  
 講師 中村聡武(音楽プロデューサー、(株)テンポリモ代表)
- 11月6日(金) 18:00~**  
 テーマ 芸術がひらくビジネスの創造性  
 ~ベートーヴェン生誕250周年に寄せて~  
 <共催:ますも証券株式会社>  
 会場 ザ・グランユアーズフクイ 3階「天山の間」  
 講師 朝倉由希(文化庁地域文化創生本部研究官)  
 佐々木雅幸(文化庁地域文化創生部主任研究官、同志社大学経済学部客員教授)

## 平日午後のおトクな企画「ハーモニー ブンカさろん」

芸術文化や食に触れていただける特別企画。文化にまつわるお話と演奏をお聴きいただいた後は、コーヒータイムで話題の輪が広がります！

- 【第18回】音楽のある街**  
 日程 4月20日(月) 13:30開演  
 出演者 お話&演奏/近藤 薫(東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)  
 演奏/渡邊辰紀(チェロ)、長尾洋史(ピアノ)
- 【第19回】ベートーヴェンという生き方**  
 日程 7月7日(火) 13:30開演  
 出演者 お話/小宮正安(ヨーロッパ文化史研究家、横浜国立大学教授)  
 演奏/ルドヴィート・カンタ(チェロ)、大宅さおり(ピアノ)
- 【第20回】音楽番組の舞台裏~奇跡はこうして作られた~**  
 日程 10月20日(火) 13:30開演  
 出演者 お話/新井鷗子(音楽構成作家)  
 演奏/未定

<料金>  
 全席自由 2,000円(スイーツ付は限定100枚\*)  
 ※スイーツ付チケットの購入枚数はお一人様2枚まで  
 <発売日(友の会会員発売は1日後、一般発売は4日後)>  
 第18回: 2月18日(火) 第19回: 5月19日(火)  
 第20回: 7月7日(火)

2019年の公演から

## ご入会でおトクに

**会員制度** (公財)福井県文化振興事業団では、下記の会員制度を設け、随時募集しております。

- 特別協賛会員**  
 主催事業の目的にご賛同・ご支援いただける方々が対象です。会員期間はご入会の日から1年後の月末迄で、個人会員の年会費は一口につき50,000円です。  
 ※法人協賛会員、冠協賛会員の制度もございます。
- ふくい文化友の会**  
 年会費3,000円で、どなたでもご入会いただけます。

**特典**

- チケット優先予約(一般・プレイガイド発売日の4日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(枚数制限なし)
- チケット引換券のご提供(ご協賛金額の1/4相当分または広告掲載)
- チケット優先予約(一般・プレイガイド発売日の3日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(各公演2枚まで)

**共通特典** ●情報誌「季刊ブンカ」の送付 ●文化施設等の見学ツアーへの参加

## コンサートへのご来場でおトクに

**和装 de 割引**  
 和装でご来場の方に、次回以降のコンサートにご利用いただける500円割引券を進呈します。  
 該当公演は、P.1~12で紹介

## 公共交通のご利用でおトクに

**フレンドリーアート号**  
 嶺南地域の各市町を経由する無料送迎バスを運行しています。  
**【お問い合わせ・お申し込み】**  
 福井県文化課 TEL.0776-20-0582  
 該当公演は、P.1~11で紹介

**電車割引** (全ての公演が対象です)  
 公演当日、福井鉄道福武線でお越しの方は、駅員又は乗務員に公演チケットを提示すると、お得にご乗車いただけます。

## 来場 de チャンス

ハーモニーホール敷地内レストラン「グラン・シェフ クーゼー」で使えるお食事券5,000円分を抽選でプレゼント!  
 (大ホール3人、小ホール2人)

■本公式ガイドブックP.1~16に記載の公演が対象です。  
 ■ご来場時に回収したチケットの半券を用いて、各対象公演終了後に抽選します。  
 ■当選結果は購入時にお知らせいただいた電話番号にご連絡のうえ、プレゼントを郵送します。  
 ※プレイガイドでご購入のお客様が当選された場合は、当選チケットの半券を当ホールまでお持ちください。

抽選結果はこちらからご確認ください。



# CONCERT INFORMATION

2020.4 - 2021.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

## 一般・プレイガイド発売日 2月22日(土)

4.12(日) 平原綾香  
15:00開演 withオーケストラ・アンサンブル金沢 P.3

5.1(金) 風と緑の楽都音楽祭 in ふくい  
19:00開演 「ステージできく」藤田真央 ピアノ・リサイタル P.7

5.9(土) スターダスト☆レビュー  
18:00開演 ア・カベラ & アコースティックライブ  
ゲスト:東京フィルハーモニー交響楽四重奏団 P.9

5.29(金) 小曽根 真 featuring No Name Horses  
19:00開演 Until We Vanish 15×15  
15th Anniversary 2020 P.11

## 一般・プレイガイド発売日 3月21日(土)

6.19(金) テイルク・カフタン指揮  
19:00開演 ボン・ベートーヴェン交響楽団 P.3

## 一般・プレイガイド発売日 4月18日(土)

7.31(金) 「ステージできく」トリオAXIS  
19:00開演 アクシス  
ナディア アズィ  
ピアノ: Nadia Azzi P.7

## 一般・プレイガイド発売日 5月23日(土)

8.12(水) 若い芽コンサート2020  
19:00開演 P.16

9.17(木) Six Unlimited コンサートツアー2020  
19:00開演 ~オールスターズの企て~(仮題) P.11

9.25(金) オーケストラで聴く映画音楽 藤岡幸夫指揮  
19:00開演 関西フィルハーモニー管弦楽団 P.4  
ヴァイオリン:黒川 侑

## 一般・プレイガイド発売日 6月20日(土)

10.10(土) 荒井 結 チェロ・リサイタル  
14:00開演 P.15

10.25(日) 私のベートーヴェン  
14:00開演 「悲愴」「月光」「熱情」 P.16

10.31(土) 和楽器奏者の英雄たち  
15:00開演 えにし  
縁コンサート ~旋風~ P.12

## 一般・プレイガイド発売日 7月11日(土)

11.1(日) 秋の子ども音楽会  
11:00、14:00開演 「ステージできく」コンサート(仮題) P.16

11.8(日) 渡辺由美子 マリンバ&パーカッション  
13:00開演 「ステージできく」プレミアム・コンサート P.8

11.14(土) クリスチャン・ツイメルマン&ルツェルン交響楽団  
18:00開演 指揮:ピーター・ウンジャン P.4

## 一般・プレイガイド発売日 9月19日(土)

12.1(火) ベートーヴェンの室内楽  
19:00開演 ~シュトゥットガルトからの贈り物~ P.5

12.5(土) ノルディック・クリスマス  
16:00開演 カルデミンミット&ヨーラン・モンソン・バンド P.12

12.20(日) 県民でつくる  
14:00開演 ふくいの第九2020 P.8

## 一般・プレイガイド発売日 10月24日(土)

12.6(日) みんなのベートーヴェン  
~ピアノ・マラソン~ P.15

1.17(日) ニューイヤーコンサート2021  
15:00開演 アンドレア・パツティスト二指揮  
東京フィルハーモニー交響楽団 P.1  
ソプラノ:吉田珠代

## 一般・プレイガイド発売日 1月23日(土)

3.20(土・祝) ジュニアが輝く!  
15:00開演 「音楽の森」コンサート2021 P.16

3.21(日) 福井県新人演奏会2021  
14:00開演 P.16

※各種発売日は下記の通りです。

- 特別協賛会員先行: 一般発売の4日前
- 友の会会員先行: 一般発売の3日前
- 会員先行ネット販売: 一般発売の2日前
- 一般発売日: 記載日
- 一般ネット販売: 一般発売の翌日

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。  
※公演情報は2020年2月3日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

越のルビープロジェクト公演

ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズ公演



ハーモニーホールふくい

チケットのご予約・お問い合わせ

ハーモニーホールふくいチケットセンター

TEL.0776-38-8282 [10:00~17:00]

プレイガイド

ベル、バリオ、エルバ、アル・プラザ鯖江、武生楽市、ヴィオ、サン・プラザ  
劇楽堂小浜店・敦賀店



ホームページ <https://www.hhf.jp/>

